

ステップ名称	手術前日		術後 2日							
	1日前	基準日	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後	7日後	
達成目標	<p>■心身共に安定した状態で手術が受けられる。 不安について言葉にすることが出来る。 ・転倒や外傷がなく安全に入院生活が送れる。(危険度Ⅱ以上は計画立案必要) ・褥瘡の発生がない。</p>		<p>■術後合併症を起こさない。 ・出血を起さない。 ・血圧を起さない。 ・バイタルサインが安定している。 ・身体可動性を増す方法を実施でき、筋力を維持することができる。 ・転倒や外傷がなく安全に入院生活が送れる。 ・褥瘡の発生がない。</p>		<p>■身体可動性を増す方法を実施でき、筋力を維持することができる。 ・転倒や外傷がなく安全に入院生活が送れる。 ・褥瘡の発生がない。</p>					
達成目標										
注意事項										
サイン	深夜 日勤									
投薬	オーダー		ワーファリン、バイアスピリンなど手術前に中止している抗血栓薬があれば	抗生剤の内服開始			抗生剤の内服を開始します(毎食後)	抗生剤の内服を開始します(毎食後)	抗生剤の内服を開始します(毎食後)	
注射	オーダー	上肢に持続点滴を開始します IP室へ持参 セファゾリンNa点滴静注1gパッ	セファゾリンNa点滴静注1g 10時 セファゾリンNa点滴静注1g 2時 朝食半分以上摂取出来れば、持続点滴 術後点滴：朝食までに点滴③がなくなったり、朝食半分以上取れなければ 採血 経過観察 Ⅱ							
検査	オーダー	手術に必要な検査を行います。 採血・レントゲン・心エコー等	術中イメージ 術後レントゲン				採血 経過観察 Ⅱ		レントゲン 採血 経過観察 Ⅱ 骨節度検査	
処置	オーダー	解性ストッキング着用 必要時毛を剃ります 術衣に更衣 爪切り	9時 便がなければ洗滌をします 血管確保 健側20Gサーフ・成人セット+三指2個 術衣に更衣 モニター装着	血圧防止の機械とストッキングを着用 フットポンプ装着 モニター装着	血圧防止の機械とストッキングを着用 血圧があります モニター装着	血圧防止の機械とストッキングを着用 血圧があります ガーゼ交換(必要時)	ガーゼ交換(必要時)	ガーゼ交換(必要時)	ガーゼ交換(必要時)	
食事	新規項目	食事摂取できますが、21時以降は飲食物を摂取できません	医師の許可が出れば飲食物から開始です	医師の許可が出れば飲食物から開始です	食事セッティング 口腔ケア	食事セッティング 口腔ケア	食事セッティング 口腔ケア	食事セッティング 口腔ケア	食事セッティング 口腔ケア	
指導		必要物品の確認 メンテナンスの確認	自己採位変換禁止	患側側臥位禁止の説明						
安静度		体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	体を拭きます(またはシャワー浴)	
清潔										
確認・説明										
活動		ベッド上でを行います(必要時床を掃除する管が入ります)	出候時ワロバク空にする	術野Dr・馬場Dr 下記指示指示を行います Dr : 指示値以下なら主治医確認 ①尿量: 50ml/2H以下なら70ml/1/2A iv (整形外科術後指示へ) ②2時間後、50ml/2H以下なら側管からイン30 500mlを100ml/1H で吸引(整形外科術後指示へ) ③2時間後、50ml/2H以下なら	ポータルトレイへの移動ができます 車椅子(主治医の指示があるまでは動下又は見守り)	車椅子(主治医の指示があるまでは動下又は見守り)	車椅子(主治医の指示があるまでは動下又は見守り)	車椅子(主治医の指示があるまでは動下又は見守り)	車椅子(主治医の指示があるまでは動下又は見守り)	
		安静度：ベッドアップ45°までで痛み 看護師介助で戻りますをします	安静度：ベッドアップ45°までで痛み 看護師介助で戻りますをします	ベッド上安静 安静度：ベッドアップ30度 体位交換はお手伝いさせていただきます 見守り保持	車椅子移動可(痛みがなければ可能) 看護師によるリハビリの開始 患側は寝座位か車椅子 患下肢に体重がかけられます	全荷重 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子	全荷重 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子	全荷重 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子	全荷重 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子 患側は寝座位か車椅子	
観察		観察項目参照		セブチカフ	転倒・転落評価					
文書										
コメント		足趾の自動運動促す 医師より手術の説明があります その後同意書の提出をお願いします 看護師より手術前の準備の説明があります 手術承諾書、抑制同意書、麻酔同意書の確認 輸血承諾書受領 抗生剤使用同意書の記入 手術看護記録記入 手術当日の内服薬の有無確認 家族に手術開始時間の時間前には来院 依頼する。(9時から開始の場合は	内服(全面中止、一部中止、服用) 褥瘡・褥病・アークセサリー・コンタクトの除去 部屋移動 出候時ベッドで移送 ネームプレートにOP日記入(赤字) IP室持参物品確認(1字帯または承諾書・抑制同意書・麻酔同意書、抗生剤) IP後ベッド作成し、ベッドIP室へ準備 ヒソカフ・電気毛布・ワットス・点滴 IP後準備(ベッド・吸引セット・フットポンプ・体交換・ギョウ)	主治医より手術結果の説明があります 発熱時：入浴指示などあり 1)足趾・足関節運動 2)大腿四頭筋セッティング 3)ヒップアップ 血圧：19.9以上でペルジエン(2mg)1Aをメインの輸液で2ml(0.4mg)静注(整形外科術後指示へ)	床よりハビリ 10時 19時 床よりハビリ 10時 19時 床よりハビリ 10時 19時 2)大腿四頭筋セッティング 3)ヒップアップ 褥瘡評価					
									手術後10日を目処に採血します その後介助にシャワーができます おおよそ1ヶ月後に退院できます	